

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あゆーむ		
○保護者評価実施期間	2025年1月25日		2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年1月25日		2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士を配置し、対象を小学生に特化して支援していること。	5領域に基づく本人支援と評価に基づいた専門的支援を実施。構造化された空間の中で自立課題や創作活動等を行い、自己肯定感を高めるために達成感を味わえる療育プログラムを実施。金銭管理の観点からおやつ時には仮定した価格を支払う練習をしている。自分のことは自分で行う意識を身につけられるように生活プログラムを編成している。	家庭との連携の中で基本的な生活習慣を確立すること
2	同法人内の中学生・高校生を対象とした放デイに継続的に利用することができること。	利用を希望している高学年の対象者のことが理解できるように日頃から連携している。	合同行事や人事交流 保護者の希望を早期から聴取しておくこと
3	事業所前に畑がある。農場と連携して農業体験等、土と親しむことができる。	偏食を少なくし、食への興味(食育)が出てくるよう、野菜を育てる過程を目の前で観察できる。収穫したものをその場で食べたり、家庭の協力のもと調理していただく。	作付け作物の種類と管理は事業所のみならず、法人で実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎していることから、保護者が具体的にどんな活動をしているのか実際には把握されていない。	連絡帳や口頭でのフィードバックは実施しているが、療育目的の事業所として、実際にどんな指導・支援がされているか肌で感じられないため、家庭との連続性に気づきにくい。	参観日や保護者参加のプログラムの設定。
2			
3			